

別所康太郎, 郷田治稔, X-BAIU-99観測グループ,
2000:1999年東シナ海・九州梅雨特別観測 (X-
BAIU-99) 報告, 天気, 47, 217-224.

吉崎正憲, 加藤輝之, 永戸久喜, WMO-01観測グループ,
2001a: 冬季日本海メソ対流系観測—2001 (WMO-01)
の概況報告, 2001年日本気象学会春季大会講演予稿集,
79, 154.

吉崎正憲, 永戸久喜, 加藤輝之, WMO-01観測グループ,
2001b: WMO-01 (冬季日本海メソ対流系観測—2001)
期間の日本海における熱・水収支, 2001年日本気象学
会秋季大会講演予稿集, 80, 23.

====支部だより====

北海道支部「気象講演会」開催報告

北海道支部では従来から、毎年1回道内各地で気象講演会を開催している。今年度は、市民の方々に対する気象知識の普及という目的を一層効果的に達成するため、函館海洋気象台が開催する防災気象講演会との共同開催という形式で、10月20日(土)に函館市において開催した。以下、その概要について報告する。

今回の講演会では、市民の方々の防災意識の向上や地球環境に対する関心の高さに応えるため、テーマを「北海道の空・海・大地」とし、種々検討の結果、以下の内容で実施した。

テーマ:「北海道の空・海・大地」

日 時:平成13年10月20日(土) 13時~16時30分

場 所:ホテル「法華クラブ函館」ブリリアンホール
講 演

① 函館周辺の気象特性と気象災害

函館海洋気象台 予報官 小林 雅

② 気候が変わると海の生物はどうなる?

—北太平洋の生物資源変動予測—

北海道大学大学院水産科学研究科

教授 岸 道郎

③ 火山との共生—有珠山及び駒ヶ岳の噴火からのメッセージ—

北海道大学大学院理学研究科 教授 岡田 弘

今回の講演会に際しては、函館市に対して共催を、

渡島支庁, NHK 函館放送局, 北海道新聞函館支社, 函館新聞社並びに日本気象協会函館支店に対して後援を依頼し、さらに各種広報誌, 新聞への掲載, テレビでの放送等, メディアを用いた広報活動に努めた。また, 気象台主催の防災気象講演会であることから, 函館海洋気象台から渡島・檜山管内の防災関係機関へ講演会への参加の要請を行った。

開催当日は快晴で行楽シーズンであることから, 参加者が少ないのではないかと心配した。しかし, 開演の30分前から徐々に参加者が集まり始め, 1時の開演時には100名を越える入場となり, 最終的には150名を超える参加者があった。

どの講演内容も函館や北海道に関する話題であることから, 参加者から質問が相次いだ。特に, 岡田教授の講演は函館に近い駒ヶ岳の火山防災も関係することから多くの質問が出され, 市民の関心の高さが窺えた。

岡田教授は昨年の有珠山噴火で大変有名になっておられるので, 講演会場には報道のTVカメラなどが入り, 当日のTVニュースでも報道された。

このように, 市民各層や報道機関の関心を集めることが出来, 今回の函館海洋気象台と共同で行った講演会は成功裡に実施することができた。

最後に講師の方々を始め, ご協力いただいた各機関に対してお礼を申し上げる。